

R5.12.12 各務原市高齢者虐待対応事例報告会 当日の感想等

◆長島介護支援専門員（コープぎふケアプランセンター各務原）

- ◎虐待にはいろんな背景がある。多くの場合、今回の発表事例にもあったが、憎くて叩いたりしているわけではない。
- ◎今回の事例報告シートは各支援機関の動きがよくわかる。
- ◎市や包括、関係機関と連携して対応できる体制があることを再確認して安心した。

◆伊藤主任相談支援専門員・社会福祉士（基幹相談支援センターすまいる）

- ◎今回の発表事例は緊急性の高いケース。
- ◎虐待者にも危ういところがある。障がいがなくとも。精神安定剤を服用していることもある。
- ◎関係機関がお互いに連絡を取り合いながら対応できる。高齢者のケースは長い家庭の歴史があり、場合によっては子育ての支援機関が関わることもある。また家族同士（子と孫など）の関係がケースに影響する場合もある。
- ◎家庭の事情がケースに影響している場合、ケアマネジャーだけで対応することは大変。市・包括や、基幹相談支援センターや相談支援専門員とも協力できる。
- ◎身体的虐待は比較的介入しやすい。でも本人が自分の利益にならない選択・判断をしてしまうこともある。その場合は対応が難しくなる。
- ◎障がいのケースと共通するところもある。抱え込まないことが大切。

◆萬谷介護福祉士・管理者（デイサービス花の木おおの）

- ◎デイサービスは身体的虐待を発見しやすい。あざや内出血など。見つけたらスピーディに対応していきたい。



本当にありがとうございます。
今後ともよろしく願いいたします。